

# 令和4年 第2回掛川市・袋井市病院企業団議会定例会 報告

開催日時 令和4年8月9日 PM 2:00～

開催場所 中東遠総合医療センター3F会議室

出席者 戸塚議長、大場正、山田貴、安間亨、大庭(記)

## 1. 全員協議会 PM2:00～

### ・宮地企業長挨拶

要旨> 当院の近況について2件の問題が発生したので報告する。

1点目は、7月13日未明に施設管理室から出火し、火災事故があった。原因は携帯電話、若しくはヘッドライトの古いリチウム電池からの発火が原因と思われる。迅速な消火活動をもって30分程度で消火した。大事に至らず助かったと思っている。

2点目は、これまで当院はコロナの感染を抑えてきたが、7月24日より複数病棟からコロナの院内感染が起きた。業務の一部停止をせざるを得ない状況になり地域にご迷惑を掛けた。県内半数以上の病院でクラスターが発生するなど厳しい状況になっている。幸い今週(8/8現在)より手術や検査を始めた。入院も受け入れていく。病院が感染から完全に守られるのは難しい。従って、今後は感染があっても地域医療が出来る体制にしていきたい。職員一同頑張っていきたい。ご支援、ご協力をお願いしたい。

### ・報告事項

(1) 企業団議員等の構成について

(2) 令和4年度の運営状況について

職員数(別紙1)、地域連携の状況(別紙2) 診療実績 ほか

(3) 病院事業会計について

令和3年度病院事業会計決算(別紙3、別紙4、別紙5) ほか

(4) 2022年度診療報酬改定に関する事項について

現行 特定初診料5,500円→7,700円 10月1日より

(5) 各種事業の進捗状況について

別紙6、敷地内薬局

別紙7、ドクターカー

別紙8、職員駐車場

(6) 公立病院経営強化プランの策定方針について

(7) 当院における火災発生の状況について

(8) 企業団議会定例会について

## < 全員協議会での各議員からの意見・質問 >

(2) 令和4年度の運営状況

6番

Q 人間ドックの利用者数、さらなる増加にどのような取組をするか。

A ドックは予防医療に効果がある。以前に比べ1.5倍に増加している。現在コロナもあり8時前から10時過ぎに終了し帰れる状況。面談があっても12時過ぎには帰れる。今後もドック検診を増やしていきたい。なお、PETは格安で増加傾向にある。周辺病院で検査結果を利用して貰っている。

### 8番

Q 医師（呼吸器・心臓外科等）確保等の今後をどのように考えているか。

A 医師の確保、難しい。心臓外科は今年度出来なかった。これがかなえば呼吸器外科も可能。糖尿病内科医師を送って貰いたいと思っている。その為にも専攻医（3年～5年）を増やしたい。

Q 今後の患者数の推移どう考えるか。

A 入院日数は一般の病院は11日～14日。当院は9日以下である。回転効率を高めて実質的ベット数を増やしたい。

Q 職員の時間外勤務の現状はどうか。

A 以前は100時間を超えている医師が5～7人いた。今はいない。80時間を超していた医師も以前20人いたが、今は2～3人しかいない。2～3年以内に60時間以内に収めたい。

## （3）病院事業会計

### 10番

Q コロナ対策をしっかりと行った結果、令和3年度約49億円余の補助金があり純損益も42億円余の黒字になった。流動資産・預金も79億円余になっている。かつて出資金を袋井・掛川両市で10億円出したが、出資金の返戻の考えはあるか。今後の病院経営に多額な費用も予定されているので、それらを見据えた今後の方針を伺いたい。

A 当院は開院時10億円の赤字でスタートした。私が就任して1億円の黒字になった。しかし、その後コロナ禍となり翌年4億円、その翌年12億円、さらに7億の赤字だ。現在、両市から補助金（15億円）を貰っていて利益が出ているが将来は不透明だ。また今後予防医療等、やるべき投資がたくさんある。従って両市からの出資金10億円は様子を見て、また地域の将来を見て利用させていただきたい。

### 3番

Q 純損益42億円、補助金49億円、差額の7億円は何か。

A 7億円の差額は、実際の病院運営だけでは7億円の赤字が出ているということだ。

## （5）各種事業の進捗状況

### 2番

Q 80台用の駐車場を求めた経過は。今後の利用目的の変更もあるか。

A 職員が開院当時（約970人）より+220人程度増加している。4、5、6月がとくに混み合う。50台程度不足している。敷地内薬局20～30台必要。経費と必要台数のバランスを取って駐車場面積を決定した。地権者とは倉庫建設についても話してある。現段階で建設の想定はしていない。

### 3番

Q 敷地内薬局、前回も反対した。敷地内に民間薬局が入ることは問題。アイホールディングに決めた理由は。

A プロポーザルの結果、薬剤師への対応が良かった。持参薬のチェック、本当に困ったときの薬剤師の派遣、これが決定理由。

Q 契約内容20年だが、どこまで履行するか。担保は取れるのか。

A 20年間のプロポーザルなのでそれでやっていただく。

議長 契約なので、契約の中で信頼関係で進めていただく。

A 令和5年3月までの薬剤師が維持できるか厳しい状況。このままいけば病棟業務を縮小する状況。多くの患者さんにとって①調剤料が安くなること。②距離が近い事。200mの距離が20m程度の場所になること。③高価な薬剤、希少な薬剤が揃っていること。④希望するドクターの調剤が可能なこと。⑤休みの時でも当院薬局で出せること。利便性が高まる。このことにより、魅力を感じて薬剤師が増えてくれれば有り難い。今後は状況に応じて話し合いがあるかも知れない。お互いが良い方向で発展できれば良い。

## 9番

Q ドクターカー、運用の方法は。

A 人力的には5人の医師の中でドクターカーを回す。ドライバーは救急車両のため、一般の派遣者を予定している。看護師は、1人乗せて運用する。赤色灯で信号赤でも運行する。10月から消防署と話し合って運行訓練する。

Q ドクターカーの医師・看護師への負担軽減策は。

A 医師はドクターカー経験のある人で最初に対応する。その後徐々に状況見ながら対応する。ドクターカーの導入で医師に魅力を感じて貰えることも期待したい。看護師も7~8名を予定している。看護師達の意気込みも感じている。気をつけて対応してく。

## (8) 企業団議会定例会

### 令和4年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計補正予算(第1号)

## 8番

Q 看護職員等処遇改善事業補助金について金額、人数等伺いたい。

A 看護職員の給与の1%を調整額を上乗せする。賞与にも反映する。従って、1人あたり、4,000円程度となる。金額では2,200万円円程度の補助金のうち、支出として1,500万円となり、4月から9月まで対応する。その後、3%UPがあるのでないかと考えている。

## 2番

Q 火災の件で保険はどうなっているか。改修工事等いくらになるか。

A 復旧費は保険で対応して貰う。今のところ暫定だが約1億円余かかると思う。

## 8番

Q 病児保育施設の拡充、現状についてどうか。

A ことり保育園は、年間定員50人に対し、定員40人となっている。一昨年はコロナで減少。医師の働き方改革の中で当該保育は重要な視点で見られている。保育園の北側に2部屋を作る。1~2,000万円程度を予定している。

## 2. 掛川市・袋井市病院企業団議会定例会

PM3：45～

議案>

- ・ 認 第1号 令和3年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計決算の認定について  
(別紙3、別紙4参照、別紙5参考)・・・・・・・・全員賛成 可決認定
  
- ・ 報告第1号 掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計資金不足比率の報告について  
(令和3年度は流動負債額が流動資産額を下回るため資金不足額は生じていない、従って資金不足比率は算定されず)  
・・・・・・・・全員賛成 可決承認
  
- ・ 議案第4号 令和4年度掛川市・袋井市病院企業団病院事業会計補正予算(第1号)  
について・・・・・・・・賛成多数 可決承認

反対討論>

コロナ対応等看護職員が含まれる重要な補正と認識している。  
しかし、この補正には敷地内薬局の為の駐車場の増設する予算が組み  
まれている。賛成することが出来ない。議会の中で何もなかったとい  
うわけにはいかないので反対する。

- ・ 議案第5号 専決処分の承認を求めることについて  
(掛川市・袋井市病院企業団職員の育児休業等に関する条例の一部改  
正について)・・・・・・・・全員賛成 可決承認  
自治法の改正により、育児休業等に関する条例の一部改正
  
- ・ 議案第6号 掛川市・袋井市病院企業団職員の育児休業等に関する条例の一部改正に  
ついて・・・・・・・・全員賛成 可決承認  
公務員の育児休業に関する法律、人事院規則の改正にともない改正
  
- ・ 議案第7号 掛川市・袋井市病院企業団病院事業使用料及び手数料条例の一部改正に  
ついて・・・・・・・・全員賛成 可決承認  
特定初診料を 5,500円を7,700円にする。  
特定再診料を 2,750円を3,300円にする。

別紙 1

職員数の推移

R4年7月1日現在

大分類	職種 小分類	H29.4.1			H30.4.1			H31.4.1			R2.4.1			R3.4.1			R4.4.1			R4.7.1										
		正規	派遣	非常勤	合計	正規	派遣	非常勤	合計	正規	派遣	非常勤	合計	正規	派遣	非常勤	合計	正規	派遣	非常勤	合計									
医師	総合内科	5			5	2			2	2			2	2			2	3			3	3								
	糖尿病・内分泌内科	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2	2								
	腎臓内科	4			4	4			4	5			5	6			4	4			4	4								
	血液・腫瘍内科	2	1		3	1			1				0	1	1					0		0								
	脳神経内科	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2	2								
	呼吸器内科	5			5	4			4	5			5	5			5	5			5	5								
	消化器内科	4			4	4			4	5			5	4	4	1		5	3	1		4	5							
	循環器内科	10			10	10			10	9			9	9			7	7			7	7								
	外科	8			8	8			8	9			9	9			10	10			10	10								
	消化器外科	(6)			0	(6)			0	(6)			0	(3)			0	(4)			0	(4)								
	呼吸器外科	(1)			0	(1)			0	(1)			0				0				0									
	血管外科	(1)			0	(1)			0	(1)			0	(1)			0	(1)			0	(1)								
	乳腺外科	(2)			0	(2)			0	(2)			0	(1)			0	(1)			0	(1)								
	人工透析外科	1			1	1			1				0				0				0									
	整形外科	8			8	10			10	7			7	8			8	9			9	9								
	脳神経外科	6			6	5			5	5			5	4			5	4			4	4								
	小児科	8			8	9			9	7			7	7			7	8			8	8								
	産婦人科	4			4	5			5	6			6	6			6	5			5	5								
	泌尿器科	3			3	3			3	3			3	4			4	4			4	4								
	皮膚科・皮膚腫瘍科	3			3	3			3	3			3	4			4	4			4	4								
	眼科	4			4	3			3	4			4	6			6	5			5	5								
	耳鼻いんこう科	3			3	4			4	3			3	3			3	3			3	3								
	放射線診断科	5			5	1			1	1			1	1			1	1			1	1								
	腫瘍放射線科	1			1	1			1	1			1	1			1	1			1	1								
	麻酔科	7			7	7	1		8	6	2		8	7	1		8	6	1		7	7								
	リハビリテーション科				0				0				0				0	1			1	1								
	歯科口腔外科	3			3	3			3	3			3	4			4	4			4	4								
	病理診断科	1			1	1			1	1			1	1			1	1			1	1								
	臨床検査科	1			1	1			1	1			1	1			1	1			1	1								
	救急科	2			2	1			1	3			3	3			3	4			4	5								
	IVR・画像診断センター					2			2	2			2	2			2	2			2	2								
	臨床研修センター					2			2	2			2	6			6	3			3	6								
	人間ドック健診センター	(1)		3	3			3	3			3	3			2	2			2	2	1								
	2年目研修医			12	12			8	8			12	12			14	14			14	14		14							
	1年目研修医			7	7			9	9			16	16			15	15			14	14		15							
	1年目研修歯科医			1	1			1	1			1	1			0				1	1		1							
	<b>医師 集計</b>		102	0	24	126	99	0	22	121	97	0	34	131	103	0	33	136	104	0	33	137	108	0	34	142	109	0	34	143
	医療技術員	薬剤師	24	1	25	25	1	26	28	1	29	29	1	30	29	1	30	29	1	30	29	1	30	29	1	30	29	1	30	
		診療放射線技師	31	2	33	31	1	32	32	1	33	30	2	32	29	3	32	30	2	32	30	2	32	30	2	32	30	2	32	
		臨床検査技師	34	10	44	36	10	46	37	10	47	38	9	47	38	10	48	39	9	48	39	9	48	39	9	48	39	9	48	
		理学療法士	17	1	18	18	1	19	22	1	23	23	1	24	25		25	29			29	29			29	29			29	
		作業療法士	7	1	8	7		7	9		9	10		10	9		9	10	1		11	10			11	10			11	
		言語聴覚士	5			5	6			6	6			6	6			6	6			6	6			6	6			6
管理栄養士		8	2	10	8	1	9	10	1	11	9	1	10	10	1	11	10	1	11	10	1	11	10	1	11	10	1	11		
臨床工学技士		17	1	18	19	1	20	19	1	20	19		20	21		21	23			23	23			23	23			23		
視能訓練士		4			4	4	1		5	4			4	4			4	4			4	4			4	4			4	
歯科衛生士		3	2	5	3	2	5	3	2	5	5	1	6	6			6	6	1		7	6			7	6	1		7	
<b>医療技術員 集計</b>		150	0	20	170	157	0	18	175	170	0	16	186	174	0	15	189	177	0	15	192	186	0	15	201	186	0	15	201	
看護師	看護師	498		48	546	511		50	561	515		54	569	511		48	559	514		49	563	520		46	566	516		50	566	
	准看護師	2		8	10	1		9	10	1		9	10	1		7	8	1		7	8	1		6	7	1		6	7	
	助産師	23		5	28	26		5	31	29		5	34	29		3	32	26		6	32	24		6	30	24		6	30	
<b>看護師 集計</b>		523	0	61	584	538	0	64	602	545	0	68	613	541	0	58	599	541	0	62	603	545	0	58	603	541	0	62	603	
一般行政職	医局秘書			2	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2	2	
	技術職員	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2	
	事務職員	42	19	53	114	46	17	54	117	47	16	61	124	49	14	62	125	50	12	73	135	52	12	77	141	52	12	79	143	
<b>一般行政職 集計</b>		44	19	55	118	48	17	56	121	49	16	63	128	51	14	64	129	52	12	75	139	54	12	79	145	54	12	81	147	
技能労務職	医療事務員	13			13	14			14	15			15	15			15	16			16	17			17	17			17	
	メディカルエイド	15		61	76	13		69	82	12		71	83	11		74	85	10		62	72	9		66	75	9		69	78	
	作業補助員			2	2			2	2			2	2			2	2			2	2			2	2			3	3	
<b>技能労務職 集計</b>		28	0	63	91	27	0	71	98	27	0	73	100	26	0	76	102	26	0	64	90	26	0	68	94	26	0	72	98	
<b>総計</b>		847	19	223	1,089	869	17	231	1,117	888	16	254	1,158	895	14	246	1,155	900	12	249	1,161	919	12	254	1,185	916	12	264	1,192	

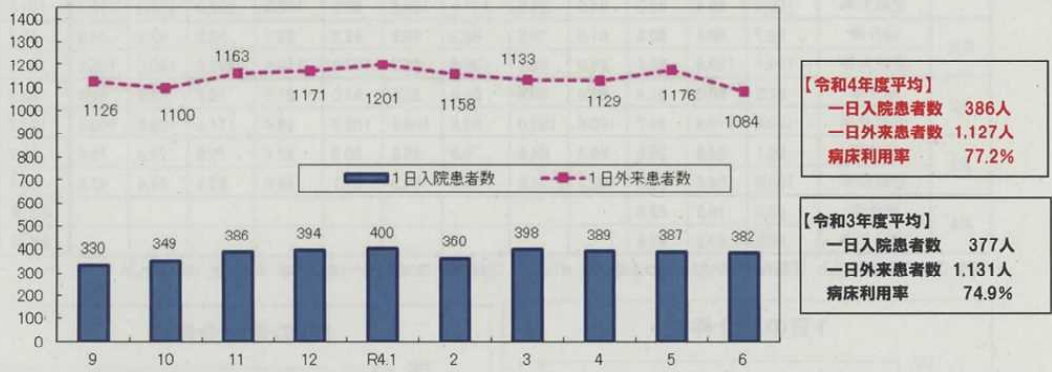
( )は再掲

地域連携の状況

1 市別の患者動向(令和4年6月末現在)

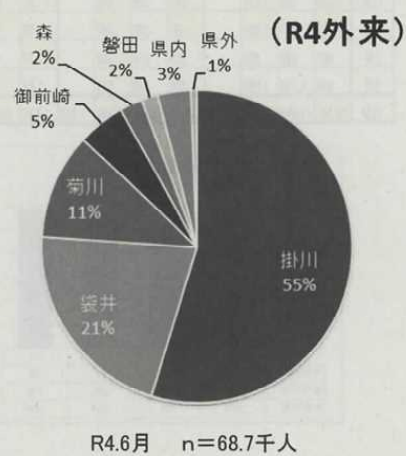
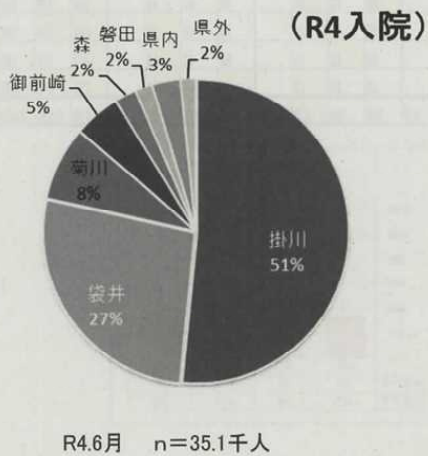
令和4年8月9日  
 全員協議会資料  
 地域医療支援センター

入院・外来患者数の推移



2 患者地域別構成比の比較

	R元年		R2年		R3年		R4年		
	患者数(人)	構成比(%)	患者数(人)	構成比(%)	患者数(人)	構成比(%)	患者数(人)	構成比(%)	
入院	掛川市	82,622	54.4	72,283	55.2	71,700	52.1	18,115	51.6
	袋井市	36,450	24.0	30,899	23.6	34,756	25.3	9,414	26.8
	菊川市	12,761	8.4	11,264	8.6	12,367	9.0	2,779	7.9
	御前崎市	7,927	5.2	6,434	4.9	7,009	5.1	1,733	4.9
	その他	12,204	8.0	10,036	7.7	11,718	8.5	3,089	8.8
	計	151,964	100.0	130,916	100.0	137,550	100.0	35,130	100.0
外来	掛川市	164,089	56.5	152,735	56.6	151,067	55.2	37,648	54.7
	袋井市	61,938	21.3	56,863	21.1	59,126	21.6	14,665	21.3
	菊川市	27,770	9.6	26,748	9.9	28,532	10.4	7,441	10.8
	御前崎市	13,968	4.8	12,553	4.7	13,168	4.8	3,388	4.9
	その他	22,402	7.7	20,888	7.7	21,757	8.0	5,625	8.2
	計	290,167	100.0	269,787	100.0	273,650	100.0	68,767	100.0





## 令和3年度病院事業会計決算

## 1 業務量

## ■入院・外来

項目	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	前年比
入院					
1日あたり患者数(人)	434.7	415.2	358.7	376.8	18.1
診療日数(日)	365	366	365	365	0
延べ患者数(人)	158,667	151,964	130,916	137,550	6,634
病床利用率	86.9%	83.0%	71.7%	75.4%	3.7
診療単価(円)	63,188	65,723	71,989	73,740	1,751
入院収益(千円)	10,025,803	9,987,504	9,424,493	10,142,937	718,444
外来					
1日あたり患者数(人)	1,241.8	1,209.0	1,110.2	1,130.8	20.6
診療日数(日)	244	240	243	242	△1
延べ患者数(人)	303,010	290,167	269,787	273,650	3,863
診療単価(円)	13,790	14,751	15,510	17,578	2,068
外来収益(千円)	4,178,524	4,280,307	4,184,413	4,810,099	625,686

## 2 決算

## (1) 収益の収入及び支出

(税抜、単位：千円)

款項目	令和2年度決算	令和3年度決算	増減	増減率
病院事業収益	18,897,427	22,541,195	3,643,768	19.3%
医業収益	14,584,258	16,017,024	1,432,766	9.8%
入院収益	9,424,493	10,142,937	718,444	7.6%
外来収益	4,184,413	4,810,099	625,686	15.0%
その他医業収益	685,541	732,535	46,994	6.9%
内 医療相談収益	348,715	414,655	65,940	18.9%
他会計負担金	289,811	331,453	41,642	14.4%
医業外収益	4,026,943	6,502,468	2,475,525	61.5%
内 補助金	2,536,136	4,988,655	2,452,519	96.7%
内 負担金交付金	739,809	708,226	△31,583	△4.3%
内 長期前受金戻入	311,664	364,220	52,556	16.9%
内 資本費繰入収益	347,218	332,293	△14,925	△4.3%
特別利益	286,226	21,703	△264,523	△92.4%
病院事業費用	17,666,631	18,242,197	575,566	3.3%
医業費用	16,491,106	17,298,366	807,260	4.9%
給与費	9,424,811	9,615,040	190,229	2.0%
材料費	3,469,346	4,005,639	536,293	15.5%
経費	2,312,885	2,370,752	57,867	2.5%
減価償却費	1,226,981	1,241,329	14,348	1.2%
資産減耗費	12,340	8,838	△3,502	△28.4%
研究研修費	44,743	56,768	12,025	26.9%
医業外費用	886,982	935,166	48,184	5.4%
特別損失	288,543	8,665	△279,878	△97.0%
医業収支	△1,906,848	△1,281,342	625,506	32.8%
経常損益	1,233,113	4,285,960	3,052,847	247.6%
純損益	1,230,796	4,298,998	3,068,202	249.3%

別紙 4

(2) 資本的収入及び支出 (税込、単位：千円)

款項目	令和2年度決算	令和3年度決算	増減	増減率
資本的収入	1,031,516	896,500	△135,016	△13.1%
企業債	24,000	84,600	60,600	252.5%
負担金	696,490	686,431	△10,059	△1.4%
貸付資金返還金	7,472	9,958	2,486	33.3%
補助金	303,554	115,021	△188,533	△62.1%
固定資産売却代金	0	490	490	皆増
資本的支出	1,660,401	1,508,125	△152,276	△9.2%
建設改良費	501,760	386,924	△114,836	△22.9%
企業債元金償還金	1,155,461	1,119,851	△35,610	△3.1%
投資	3,180	1,350	△1,830	△57.5%

3 建設改良 (税込、単位：千円)

項目	令和3年度決算	主な内容
施設改良費	31,900	自家発電機始動盤蓄電池購入 4,070 ナースコールサーバー等購入 25,300 医療情報システム改修等 2,530
医療機器等購入	355,024	術中用X線撮影装置 51,267 X線TV装置 29,997 その他医療機器等購入費ほか 216,411 移設機器等購入 (H25から、10年間分割払い) 57,349
計	386,924	

4 企業債借入状況 (単位：千円)

借入先	期首残高	借入高	償還高	年度末残高
財政融資資金	11,838,667	0	458,545	11,380,122
地方公共団体金融機構	3,999,563	84,600	661,306	3,422,857
計	15,838,230	84,600	1,119,851	14,802,979

5 貸借対照表 (令和4年3月31日現在) (税抜、単位：千円)

科目	令和2年度決算	令和3年度決算	増減
資産の部	21,665,974	25,227,147	3,561,173
固定資産	14,913,756	13,971,027	△942,729
有形固定資産	13,734,075	12,981,963	△752,112
無形固定資産	731,800	549,221	△182,579
投資等	447,881	439,843	△8,038
流動資産	6,752,218	11,256,120	4,503,902
現金預金	2,973,254	7,978,493	5,005,239
その他	3,778,964	3,277,627	△501,337
負債の部	20,628,606	19,866,577	△762,029
固定負債	16,554,357	15,964,086	△590,271
流動負債	3,284,188	3,024,749	△259,439
繰延収益	790,061	877,742	87,681
長期前受金	4,301,771	4,754,602	452,831
収益化累計額	△3,511,710	△3,876,860	△365,150
資本の部	1,037,368	5,360,570	4,323,202
資本金	1,302,075	1,302,075	0
資本剰余金	97,531	121,735	24,204
利益剰余金(△は欠損金)	△362,238	3,936,760	4,298,998
資産及び負債資本合計	21,665,974	25,227,147	3,561,173

○経営の状況

- ・入院、外来ともに単価及び患者数の増により収益増
- ・新型コロナウイルス関連の補助金 収益的収入 49億円、資本的収入 1億円
- ・現金預金、前年度から50億円増
- ・新型コロナウイルス対応の手当増、退職給付引当金の増による給与費の増
- ・入院、外来等診療実績増による材料費の増
- ・純損益、42億9千万円の利益 → 繰越欠損金は解消し利益剰余金となる



令和3年度 近隣自治体病院決算状況調査表一覧

※令和3年度決算状況調査(速報値)による。

項目	中東遠総合医療センター	鶴田市立総合病院	島田市立総合医療センター	沼津市立病院	富士市立中央病院	藤枝市立
<b>入院収益</b>	<b>10,142,937</b>	<b>9,762,687</b>	<b>7,526,556</b>	<b>6,070,979</b>	<b>8,731,667</b>	<b>10,142,937</b>
年延べ患者数 (人)	137,550	138,475	129,145	90,096	132,082	137,550
一日平均患者数 (人)	376.8	379.4	353.8	246.8	361.9	376.8
一人一日当り医療費 (円)	73,740	70,501	58,280	67,383	66,108	73,740
許可病床数	500	500	445	387	520	500
病床利用率 (%)	75.4	75.9	79.5	63.8	69.6	75.4
<b>外来収益</b>	<b>4,810,099</b>	<b>5,372,033</b>	<b>4,368,296</b>	<b>2,579,370</b>	<b>3,580,984</b>	<b>4,810,099</b>
年延べ患者数 (人)	273,650	279,631	203,520	151,915	216,316	273,650
外来診療日数 (日)	242	242	241	241	242	242
一日平均患者数 (人)	1,130.8	1,155.5	844.5	630.4	893.9	1,130.8
一人一日当り医療費 (円)	17,578	19,211	21,464	16,979	16,554	17,578
その他医療収益(他会計負担金含む)	1,063,989	801,381	444,304	728,222	696,358	1,063,989
内、他会計負担金 A	331,453	270,149	113,672	609,000	504,454	331,453
<b>医療収益 計 ①</b>	<b>16,017,025</b>	<b>15,936,101</b>	<b>12,339,156</b>	<b>9,378,571</b>	<b>13,009,009</b>	<b>17,017,025</b>
預金利息	36		1		1	36
国県補助金	4,988,655	2,202,312	1,085,050	508,882	3,468,648	4,988,655
他会計補助金・負担金 B	708,226	325,234	692,848	1,291,454	843,751	708,226
長期前受金戻入	364,220	55,636	43,106	44,964	27,583	364,220
資本費繰入収益	332,293					332,293
その他医療外収益	109,038	101,074	169,982	141,977	220,247	109,038
<b>医療外収益 計 ②</b>	<b>6,502,468</b>	<b>2,684,256</b>	<b>1,990,987</b>	<b>1,987,277</b>	<b>4,560,230</b>	<b>6,502,468</b>
特別利益 ③	21,702	37,178	0	0	0	21,702
<b>総収益 計 ④ (①+②+③)</b>	<b>22,541,195</b>	<b>18,657,535</b>	<b>14,330,143</b>	<b>11,365,848</b>	<b>17,569,239</b>	<b>23,541,195</b>
<b>給与費</b>	<b>9,382,115</b>	<b>9,216,620</b>	<b>6,971,763</b>	<b>5,459,246</b>	<b>8,172,714</b>	<b>9,382,115</b>
対 医療収益割合 (%)	58.6	57.8	56.5	58.2	62.8	58.6
内、退職給付引当金	781,844	503,079	190,321	195,568	334,635	781,844
内、過年度分	226,110	300,000				226,110
<b>給与費(過年度退職給付費を除く)</b>	<b>9,156,005</b>	<b>8,916,620</b>	<b>6,971,763</b>	<b>5,459,246</b>	<b>8,172,714</b>	<b>9,156,005</b>
対 医療収益割合 (%)	57.2	56.0	56.5	58.2	62.8	57.2
材料費	4,005,639	4,161,196	3,696,526	2,469,470	3,375,240	4,005,639
対 医療収益割合 (%)	25.0	26.1	30.0	26.3	25.9	25.0
経費	2,619,058	3,006,463	1,607,360	2,010,910	2,057,805	2,619,058
対 医療収益割合 (%)	16.4	18.9	13.0	21.4	15.8	16.4
<b>減価償却費</b>	<b>1,241,329</b>	<b>964,922</b>	<b>1,421,352</b>	<b>607,568</b>	<b>647,533</b>	<b>1,241,329</b>
対 医療収益割合 (%)	7.8	6.1	11.5	6.5	5.0	7.8
資産減耗費	8,838	18,775	4,127	20,402	22,535	8,838
対 医療収益割合 (%)	0.1	0.1	0.0	0.2	0.2	0.1
研究研修費	56,768	34,615	34,380	13,551	34,731	56,768
対 医療収益割合 (%)	0.4	0.2	0.3	0.1	0.3	0.4
<b>医療費用 計 ⑤</b>	<b>17,313,747</b>	<b>17,402,591</b>	<b>13,735,508</b>	<b>10,581,147</b>	<b>14,310,558</b>	<b>17,313,747</b>
対 医療収益割合 (%)	108.1	109.2	111.3	112.8	110.0	108.1
支払い利息及び企業債取扱諸費	215,124	178,872	61,089	21,786	4,929	215,124
繰延勘定償却(長期前払消費税償却)		63,658				
付帯事業費用			156,200			
その他医療外費用	704,661	677,571	686,947	469,962	678,703	704,661
<b>医療外費用 計 ⑥</b>	<b>919,785</b>	<b>920,101</b>	<b>904,236</b>	<b>491,748</b>	<b>683,632</b>	<b>919,785</b>
特別損失 ⑦	8,665	109,857	2,605,045	86	5,578	8,665
<b>総費用 計 ⑧ (⑤+⑥+⑦)</b>	<b>18,242,197</b>	<b>18,432,549</b>	<b>17,244,789</b>	<b>11,072,981</b>	<b>14,999,768</b>	<b>18,242,197</b>
<b>医療損益 ⑨ (①-⑤)</b>	<b>△ 1,296,722</b>	<b>△ 1,466,490</b>	<b>△ 1,396,352</b>	<b>△ 1,202,576</b>	<b>△ 1,301,549</b>	<b>△ 1,296,722</b>
<b>医療外損益 ⑩ (②-⑥)</b>	<b>5,582,683</b>	<b>1,764,155</b>	<b>1,086,751</b>	<b>1,495,529</b>	<b>3,876,598</b>	<b>5,582,683</b>
<b>経常損益 ⑪ (⑨+⑩)</b>	<b>4,285,961</b>	<b>297,665</b>	<b>△ 309,601</b>	<b>292,953</b>	<b>2,575,049</b>	<b>4,285,961</b>
<b>繰入金を除いた収支 ⑫-(A+B)</b>	<b>3,246,282</b>	<b>△ 297,718</b>	<b>△ 1,116,121</b>	<b>△ 1,607,501</b>	<b>1,226,844</b>	<b>3,246,282</b>
<b>純損益 ⑬ (④-⑧)</b>	<b>4,298,998</b>	<b>224,986</b>	<b>△ 2,914,646</b>	<b>292,867</b>	<b>2,569,471</b>	<b>4,298,998</b>
<b>繰入金を除いた収支 ⑭-(A+B)</b>	<b>3,259,319</b>	<b>△ 370,397</b>	<b>△ 3,721,166</b>	<b>△ 1,607,587</b>	<b>1,221,266</b>	<b>3,259,319</b>
3条予算への一般会計基準繰入金額 (千円)	897,929	1,132,375	803,755	1,300,454	1,348,205	897,929
3条予算への一般会計繰入金額 (千円)	1,039,679	595,383	806,520	1,900,454	1,348,205	1,039,679
稼働病床1床当りの3条繰入金額 (千円)	2,079	1,191	1,812	4,911	2,593	2,079
4条予算への一般会計基準繰入金額 (千円)	686,431	1,271,231	762,684	200,000	217,033	686,431
4条予算への一般会計繰入金額 (千円)	686,431	1,236,481	762,684	200,000		686,431
稼働病床1床当りの4条繰入金額 (千円)	1,373	2,473	1,714	517	0	1,373
3条+4条予算への一般会計基準繰入金額 (千円)	1,584,360	2,403,606	1,566,439	1,500,454	1,565,238	1,584,360
3条+4条予算への一般会計繰入金額 (千円)	1,726,110	1,831,864	1,569,204	2,100,454	1,348,205	1,726,110
稼働病床1床当りの繰入金額(3条+4条)(千円)	3,452	3,664	3,526	5,428	2,593	3,452
職員数 (人)	1,155	1,153	921	667	972	1,155
医師	133	169	100	89	115	133
看護師	591	540	482	368	530	591
医療技術員	190	217	204	107	131	190
その他	241	227	135	103	196	241
職員数(100床あたり換算) (人)	231	231	207	172	187	231
医師	27	34	22	23	22	27
看護師	118	108	108	95	102	118
医療技術員	38	43	46	28	25	38
その他	48	45	30	27	38	48

別紙 6  
「敷地内薬局」

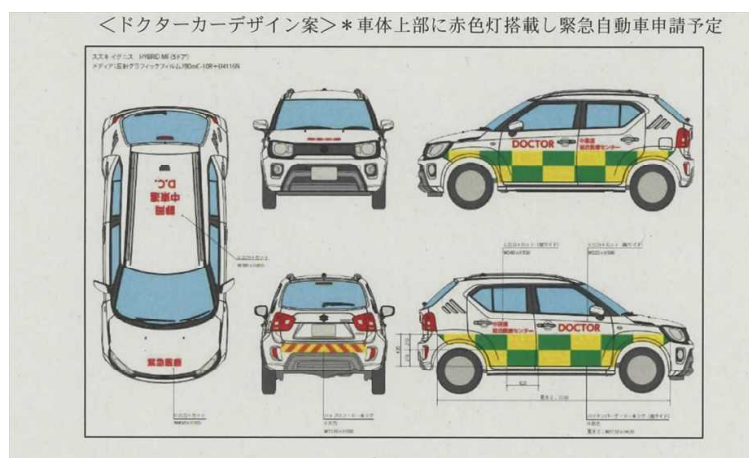


目的 地域医療を守るため、慢性的に不足している薬剤師の負担軽減を図る。  
このため薬剤業務の一部民間への依頼をする。敷地内薬局を設置する。

事業者 プロポーザルにより決定。 「アインホールディングス」

事業内容 開設 令和5年4月1日～  
営業時間 AM8：30～PM11：00 年中無休

別紙 7  
「ドクターカー」



目的 医師や看護師等の医療チームが現場に駆けつけ、早朝に医療介入することで、救命率や社会復帰率の向上、後遺症の軽減を目的とする。

運用方式 患者を搬送する能力を持たない緊急自動車に乗車し、現場に向かう。  
医師・看護師は救急車に乗り換えて傷病者を病院まで搬送する。

事業内容 車輛 ススキ（株）より寄贈。  
範囲 掛川市、袋井市、森町の全域  
運行開始 令和4年10月頃より

別紙 8

「賃借駐車場」



概要 職員増加（委託業者も含め）による慢性的駐車場不足解消のため、土地を賃借し、駐車場を運用する。

場所 掛川長谷1394-1他 2664.01㎡ 80台程度  
 賃借期間 30年  
 整備費 29,388千円 概算  
 運用開始 令和5年3月頃

令和4年度 補正予算（第1号）

2 予算実施計画

(1) 収益的収入及び支出

(税込、単位：千円)

款項目	既決予定額	今回補正額	計	主な補正内容
病院事業収益	18,701,944	685,375	19,387,319	
医業外収益	1,547,655	685,375	2,233,030	
補助金	34,815	678,275	713,090	新型コロナウイルス感染症関連 看護職員等処遇改善事業補助金等
その他医業外収益	52,132	7,100	59,232	コロナ宿泊療養施設管理受託
病院事業費用	18,966,663	114,818	19,081,481	
医業費用	18,169,461	114,818	18,284,279	
給与費	9,758,512	14,442	9,772,954	看護師給料、手当の増
経費	2,729,657	100,376	2,830,033	賃借費 16,330千円増 委託料 75,367千円増 ほか

(2) 資本的収入及び支出

(税込、単位：千円)

款項目	既決予定額	今回補正額	計	主な補正内容
資本的収入	942,005	154,436	1,096,441	
補助金	1	154,436	154,437	新型コロナウイルス感染症関連
資本的支出	1,577,416	354,658	1,932,074	
建設改良費	527,434	354,658	882,092	
建設改良費	23,062	189,988	213,050	施設管理室他改修工事 駐車場整備工事ほか
資産購入費	504,372	164,670	669,042	補助事業に伴う医療機器の整備ほか

主な補正内容は備考欄のとおり



## 火災とコロナ

7月13日 申し訳ない 痛切に反省している 反省の理由は 消火施設は検査も通り万全だった、消火設備を過信していた 施設を管理委託していた部屋から出火した もし初動体制がもう少しやれていれば ここまでにならなかった。底が反省点 委託業者の 消火訓練を徹底させる 企業長も甘えがあった

もう1点 掛川議会にも報告したここまでひどくなるのは来れも想定外 市中から持ち込んだか 職員が持ち込んだから 患者がすり抜けて 各病棟で発生した 昨日時点8/1 42人 8/2時点で46人 今日隔離解除で42になる。今増えている 重傷ではないが 酸素投与もある もう一つは どこから感染したか今のところ 院内が34人 持ち込み12人

職員の感染8/1現在 103人コロナ関連で休んでいる 8/2今朝は105人が休んでいる 職員の場合は 家族一人で 皆感染する ちょっと体調が悪ければ休んで貰う

代替発症 10休み 感染すると半月これない 重症者はいない 県内でも3-4人しかも基礎疾患ある人

整備でも1人しか重症者いない 今回 同時多発した救急車 は受けている 重傷を優先して 18名の救急車 1日 救急車 15-16台 昨日は多かった

緊急は受け入れていこう、感染ルートは特定できない 濃厚接触者 電話 検査して欲しい 重傷化は対応する そうでないと自宅待機 電話で 脅された 看護師が 心が折れる  
まずは開業医に行って欲しい  
減ってはきている

70人のうち医師が3人 67人 看護師等 33人 看護師 リハビリ スタッフ  
1200抗原検査

2p

医師109名 研修医が30名 4年連続でフルマッチを 達成

研修医 2年目 14人 1年目 15人

3年目、5年目の専攻医についても 内科家系、外科系の医師の増に繋がっている。

今年度 3年目研修医 内科に1名 整形外科医に1名 外科に1名

看護師 603人 医療技術員 薬剤師30 等 201人

計1192人

医師の負担軽減 医師の働き方改革 届け出等 していく



3 p 中期目標は 2, 019-2, 024年の5年間で 3本柱で計画している  
2022運営目標は

1.

コロナウイルス

がん診療病院の指定

医師充足の道筋を付ける

2.

ハラスメントを撲滅し働きやすい環境を

3.

日本トップクラスの臨床研修医病院を目指す

4年連続でフルマッチを達成 医師国家試験を全員合格、

昨年度2021全国の研修医を対象とした能力評価試験では

642病院参加中15位だった 全国的に優秀な研修医

現在、内科、のみとなっている専門研修プログラムを

数年内に整形外科 外科 皮膚科 救急 広げたい トップクラスをひき続き目指す

石野>

職員開院時 971人だった 220人増えた 駐車場足りない

機能は上がった 増築が必要 救急が必要

大幅に考えていく時期だ

目標だが

1 コロナの対応 ドクターカー 数値目標あるが 目的 対応していく

4. ハラスメント 働き方改革 企業長2期目 考えていく 研修医

令和2年 落ち込んだ 3割

令和4年度 調子良くスタートした

6月下旬 8p 落ち込んできた

9p 救急 急患

去年より増えた 令和元年 3年を比べると 半分だった

とにかく 令2年 適切受診 激減した

受信者数は まんべんなく増えている 0822

11p どこから来ているか r2 r3少し袋井市民が増えている

外来は変化無し 本年度入っても変わらない。

12p 紹介 少し増えてきた

13p 去年 おとし変わらない 以前4割 待ち時間があつた

14 p 業務量 入院の平均患者数376.8人 前年比18.1人 当初400人を  
補正で372人修正した 補正後結果、上回っている

診療科別では整形外科、脳神経外科で患者が増加 診療単価は73,740円コロナ禍に  
あって増となっているDPC係数の上昇している。手術件数 がん診療に力を入れた。  
診療単価1,751円増加した。

外来患者数は1日1130.8人 20.6%増 外来単価が17,578円  
2068円増は 高額の薬品を使用する患者屋が増加したため  
2の決算

令和3年 事業収益 22,541,195千円  
費用が18,242,197千円  
純損益4,298,998千円 黒字

収益面ではコロナ感染症影響があり大幅な回復とはなっていない

コロナ禍における患者受け入れの 病床確保や 体制整備のための補助金収入 が  
49億円あったため 最終的に42億円ほどの純利益となった。

15 p 資本的収入

令和3年度の基本的収入の企業債についてですが

大きな設備投資の計画はなかった また、新型コロナウイルスの補助金が大  
きく入ってきたという事で、借入額が8,460万円 とおさえられている。

3 建設改良の医療機器購入にある通りですが X線tv装置やX線撮影装置を整備した

5 の貸借対照表では流動資産 現金予算 7,978,493千円の残となっている  
令和2年度に比べ50億円増加している

次に 資本の部 利益剰余金、 令和3年度の 純利益が42億9,000万円  
余であったことから繰越欠損金が解消されて 利益譲与が 39億3,600万円よ  
となっています。

16 p 17 p

近隣の自治体病院の決算であります。

他病院と比較して	当病院	磐田	島田	藤枝
純損益	42.9億	2.24億	▲29.1億	34.9億
剰余金	39.3億	▲154.9億	▲12.9億	▲119.5億
現金預金	79.7億	18.7億	24億	43.5億

と言ったところが大きな数字になっている

新型コロナウイルス感染症に対しまして 当初の頃より、当院が真面目にしっかり取り組  
んできたという成果であると考えております。

18 p 債権放棄

11人

200万円余 報告 内容的には 消滅時効20万円程度

回収不可能180万円程度

審査を受けて ほとんどが死亡

19 p 今年度の 業務報告 6月迄の報告  
昨年度より少し付く良くなっている。

20 p ドック 昨年より増えている  
PET 価格をデスカウントしたので増えている  
大きく上昇している

21 p 経常損益 ▲ 216, 255千円の損失  
前年度に比べると数百万円のプラス これは6月まで昨年より多少良い  
新型コロナウイルス感染症のために一定の病症を空床にしていることや  
原油高、 光熱費が高騰していて 効いている  
空床保証についても今年度見込まれていますので 最終的には黒字なると見込んでい  
る その他昨年より規模は縮小されましたが新型コロナウイルス関連補助事業が予定さ  
れているので補正を視野に予定している

質問 値上げがあるが 医療費 薬品の 値上げはあるか

石野 薬品 はない 材料 マスク 光熱水費 3-5割アップしている

質問 コロナ 感染 100人 いるが 支障が出ていないか

石野 朝コロナ対策会議をしている 命 重篤患者 脳梗塞

うちはいれるように対応している

看護師が少ないと病棟が廻らない 1病棟先週閉じた 沈静化するまで耐  
える

質問 お金がないと言ってきた 出資金 10億どう考えているか

救急病棟 増設したい 利益と今後の見通しは

石野 令和4年 収支はトントン 今後の10年20年 緊急の入院体制安心して

受け入れるために 増築をして 緊急センター そういう部門を拡張して

人間ドックを 入れるか 構想している ざっと50億円かかる

出資金 将来に対する 投資をしている それを理解して欲しい

返さず 将来投資をすべき

森、菊川 御前崎 厳しいと思う 働き方改革で厳しい

退職手当も30-35億くらいあり 積んでおかなければいけない

それ以外は投資 10億 4億 6億円

質問 50億かかる凄い では利益を全部吐き出すことになる ?

石野 それは企業債を借りて 30年間で返していく

質問 今年2月 将来を見据えた病院の整備方針が出たが?

ドクターカー 人間ドック 建築基準 薬局

石野 この質問 は 触れていただきたい

24 p

特定初診料 5, 500円が7, 700円 消費税込み

再診料 2750 3, 300円に

厚労省の指導 紹介状ある 救急車 受診後入院 交通事故 労災など  
特定初診療 いただかない

25 p 26 p

敷地内薬局 R4. 2. 1 プロポーザル公募

r 4. 3. 18 審査結果

R4. 3. 31基本契約

R5. 4. 1 営業開始

アインホールディング

ス 契約期間20年

1F 400㎡ 2F 385㎡

駐輪場に建てる 外観は 写真

薬剤師の負担軽減辞めていく サポートをして貰う 地域の備蓄センター

病院の薬剤業務 地域の備蓄センター

小笠袋井薬剤師界の会長が横山 宇山先生と話し合いをした 界としての考えは変わらない やることはしょうがない やるからに薬剤師会と 病院 WINWINになるよう

相談にって欲しい それはすると約束をした 回答した

備蓄倉庫 相談していきましようと話した

28 p ドクターカー

患者を乗せるではなく 医師看護師が 処置治療を開始する

救急科のスタッフが やりたいとの提案があり スタッフの目処が立った

救急科の職員を こういうことをやっている事が魅力的

10月から開始する

30 p 31 病院の西側に駐車場を 年間290万円で借地して80台

整備掛かるが 患者が 4, 5月場所がなかった

敷地内薬局で 20台潰れる ので作る

31 p 経営強化プラン 急性期治療を

32 p

国の病院経営強化プランの策定経過だが H27 総務省が公立病院の再編統合 赤字解消を目的としました 公立病院改革ガイドラインを公表した その後H31には 厚生労働省が 全国424病院についてとくに再編統合についてとくに議論の必要とする 分析をまとめて病院リストを公表した

R4年 新たに総務省通知により、「持続可能な地域医療提供体制を確保するための病院経営強化 ガイドライン」が示され病院事業を設置する地方公共団体には公立が求められてきた。

役割機能の最適化と連携の強化

医師看護師の確保と働き方改革

経営形態の見直し



新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

施設設備の最適化

前回の企業団議会で話した 当院は9年か開院から経っている

将来に向け地域医療のニーズを踏まえたあり方を検討中

救急救命センター ICU CCUの整備検討 放射線導入検討

人間ドック検診センター整備 ワーキングを立ち上げ 検討

経営の効率化等

● R5. 3 策定完了予定

32p 35p 火災の件

負傷者がいなかった

コントロールセンター 施設の施設連携 今回の火災で色々分かった

リチウム電池 ヘッドライトの x線で検査する予定 断定できるか分からない

37p 補助金 令和4年度 補正の概要

収入 空床保証 など新型コロナ感染関連などの補助金

看護師の処遇改善事業 補助金 これの補正

今年の2月から

支出

駐車場の賃借料 医療機器の賃借料 PCR業務の拡充

資本的収入 設備投資に掛かる 補正

支出 火災による施設の改修工事

駐車場の整備工事

院内保育園 病児保育を実施する 進めているの補正

来年の4/1以降メド 運用に向けて補正

新型コロナ補助金対象の補正

債務負担は 駐車場R4-R33 賃借料

2000万円 FPDシステム

38P専決処分育児休業 両立支援

会計任用 r4.3.11専決処分

39p r4.10.1 施行のもの制限の緩和 法律の改正に伴い

薬剤薬局・・・本人変わらない・・・ご理解いただきたい 意見で良いで終わった  
オフレコ 企業長の心をおる発言早めて欲しいと言っておいた

看護師の手当 をしっかり 今回の補正で 看護職員の補助 1,200万円

7,000万円のうち 1% 4,000円/一人あたり